

ハイマダラノメイガ (Cabbagewebworm)

Hellulla undalis (Fabricius)



ダイコンを食害する幼虫



成虫

発生生態

ダイコンシンクイムシとも呼ばれており、8月中旬から9月中旬に発生量が最も多くなります。幼虫が大根、キャベツ、白菜などの生育初期の生長点付近の葉を綴ったり、生長点を食害します。生育初期の対策を怠ると壊滅的な被害になるので、注意が必要です。また、高温少雨の夏には多発しやすいとされています。

防除対策

2mm以下の目合いの防虫ネット、寒冷紗やべた掛け資材によって成虫の侵入を防ぎます。この時被覆資材の中も観察することが重要です。キャベツや白菜の育苗中の粒剤による防除は、育苗後半に施用すると効果的です。